＃７富山大学経済学部経営学特殊講義「地域の観光資源と活用戦略」11/16質問

インフラ整備

Q103　ボート・ヨットの一時係留や宿泊係留について、これから増やしていく予定はありますか？

A　係留施設については、新湊マリーナ、石田フィッシャリーナ（黒部）などで増設工事が行われています。宿泊係留は、各々の管理団体（港湾、漁協）の領域ですが規制変更は特にないと思われます。宿泊施設については残念ながら計画を聞いていません。

Q114　ヨット、船舶の停泊場所は、富山湾増に何箇所ありますか。

A　今までヨットを係留したことのある場所は、東から（黒部市）黒部漁港、石田フィッシャリーナ､（魚津市）経田漁港、魚津港、（滑川市）滑川漁港、（富山市）富山港、*水橋フィッシャリーナ*、（射水市）新湊マリーナ、海王丸パーク、（高岡市）伏木国分港、*雨晴マリーナ*、（氷見市）氷見漁港、大境漁港と13か所です。（斜体は浅いためボートのみ）

Q205　小型船は普段、どこで停船するのか。船を使わない日は、どこに置くか

A　主な係留場所は、マリーナです。実態としては河川などに不法係留されている場合もあります。

　　港や入り江にアンカー（錨）を使って一時係留する場合もあります。使用しない時は、マリーナでレッカーで陸揚げし、陸上保管することもあります。

Q225､108､409　富山湾でのセーリングをより良く発展させるために、どのようなインフラを整備しなければなりませんか

A　停泊場所、連絡先、トイレ・飲食・宿泊施設などの設備と情報発信が必要です。ヨットを一般の人に体験してもらう仕組みも必要でしょう。海からのクルージング訪問者に対して、公共交通機関、レンタカーなどが使いやすくなるような連携も必要です。

Q308　バンクーバーは､海は勿論ですが、山、森林といった自然に恵まれ富山に近い共通点があると思います。そんな中、富山がバンクーバーと比べて最も足りていないのは何だと思いますか。

A　ヨットで出かけたり、キャンピングカーで出かけたり、DIY的なアウトドアで過ごす多様なライフスタイルが定着していない、愛好者が少ないことだと思います。ニーズがないから、供給もありません。

Q405　なぜボート・ヨットの港湾設備は整っていないのか。

A　ヨット人口が少なくて整備費用が回収できないためと思います。設備が整っていないため、人口も増えないという話もありますが…

イベント開催

Q118　クルージングだと天気の影響を受けると思いますが、天気の悪い日にお客さんにサービスとかしていたら教えて下さい。

A　ヨット教室では天気の悪い日はビデオを見たり、ロープワークを学んだりしています。

　　海図を使った、クルージングプランを立てる（チャートワーク）も可能です。

Q219 豆川さんは､ヨットスクールなどはしないのですか

A　イベント的に銘打っては実施していませんが、ひとに教えることは自分自身の確認や勉強にもなるので、教えてほしいと頼まれたら、機会を見つけて、可能な範囲で教えてあげています。

情報発信

Q101,120,209　年々富山のクルージング人口が減っているとの事ですが、若い人やまだクルージングの魅力を知らない人に良さを知ってもらうため、講演会みたいなものは開催しておられますか？富山ではヨット教室など開かれているのか

A　毎年4月～7月にかけて、ヨット教室を開催しています。

クルージングヨット教室（県セーリング連盟）

http://webun.jp/kns/culture/toyama\_wealth.html

Q104､109,220,317,411　富山湾でのクルージングの魅力を広めるために、何かしていますか。特に若年層に対して。

A　タモリカップを開催して、多くの人にヨットの楽しさを見てもらっています。またヨット教室も開催しています。でも、まだまだ知名度は向上させないとですね。

タモリカップ富山大会　https://www.facebook.com/tamoricup.toyama/

Q105,310　実際にクルージングしようとなると、富山のクルージングスポットに予約しなければならないですか。

A　営業としてチャーターヨットをやっている所はありませんが、新湊マリーナに連絡頂くとクラブを紹介してくれるかと思いますので、一度体験してみてください。

　富山県新湊マリーナ 海竜マリンパーク　http://www.kairyu-marina.jp/

Q109,206　クルージングをPR､富山湾クルージングの魅力を伝えるために、ホームページを作ったりしていますか。今後作る予定はありますか。

A　残念ながら、作っていません。少ないですが、新湊マリーナのウェブサイトにクルージングガイドのコーナーがあります。

　富山県新湊マリーナ 海竜マリンパーク　クルージングガイド　http://www.kairyu-marina.jp/cruise/

Q110　エスチュアリー、ラグーンとは何ですか？

A　該当ワードが思い浮かばなかったのですが、Excursion（遠足、小旅行）と称して、地中海でのヨットラリー開催中、目的地にゴール後、もてなしの一環で、夕食までの間に観光するオプションがあります。

　　Lagoon（環礁）は、サンゴ礁によって形成された海域のことです。

Q113､217,316　船やセーリング、クルージングといったような個人の船を使った活動はお金がかかるというイメージがありますが、様々な経費はどのくらいかかるのですか？

A　ヨットの購入費（中古50万円程度～天井知らず）､係留費（富山では月2万円程度、都会では一桁上）、整備費（自分でやれば材料費のみ､業者に頼めば人件費＋利益で一桁上）、と富山において仲間で所有して自分達で整備して楽しむ分には､とてもリーズナブルです。

　1人で全部まかなうのは費用も時間も大変ですが、グループに入れば、少額負担（月数千円から）で参加することも可能だと思います。

Q116　海外クルージング・スタイルから学んだことの中で、富山湾クルージングに活かせると思う事を具体的に教えて下さい。

A　海外と一言でいってもさまざですので、富山の地の利の良さを生かすことだと思います。富山は市街地からもすぐにアクセスできるので、もっと身近に利用すべきだと思います。

Q203　クルージングは季節ごとで楽しみ方は変わってくるのか

A　ヨットレースは春から秋まで楽しんでいます。夏は沖合で泳いだり､海上から花火を見たりします。春はイルカの大群を見ることも有ります。

Q212 ボートやヨットでのクルージングはお金がかかるイメージがあるので、やる年齢も高くなってしまうのでは？

A　1人で賄おうとすると大変かもしれません。でも富山は係留費など安いし、数人でシェアする方法もあります。やり方次第で、お金はかからないから、若い人も呼び込む事が出来流と思います。

Q214　船に実際に乗るまでが少し難しいと感じますが、豆川さんが船に乗ろうと思い立ってから乗るまでの大まかな流れを教えて下さい。

A　話の中でも触れましたが、私の場合、ひょんなことから、ゲスト（素人）として乗せてもらい、純粋に“面白そう”と思ったことがきっかけでした。基本から学びたいと思い、大阪、沖縄、横浜のスクールに参加し、県外の友人も増えました。口コミで程度のいい中古艇を買うことにもなりました。そういうやり方も一つですが、地元マリーナに出かけてみることだけでも、ちょっとしたアクションから、乗る機会は作れると思います。

Q227　富山湾は東京湾に比べ静かだと伺いましたが、ヨットに乗っていて珍しい生き物などを目にする事はありますか

A　釣りをしないため、魚なども詳しくないのですが。陸上で見かける時よりも、カモメはたくましく感じます。限りなく自由ですが、生命力を感じます。あとは、春先のイルカでしょうか。

Q229　富山湾のブランディングを行う手段として、何かやっていることはありますか。

A　タモリカップを開催することで、舵などの全国紙にアピールされています。また、世界で最も美しい湾クラブに加盟したことで、注目してくれる人もいます。

Q231　海に出てみたいという人はたくさんいると思うので、その簡単な方法を教えてほしい。

A　一番簡単な方法は、海王丸パークや滑川港で観光船に乗ることですが、手漕ぎボート、ウインドサーフィン、SUP、ヨット、などなど、いろいろな道具や楽しみ方があります。

Q303　バンクーバーなど海外のお話がありましたが、富山湾でのクルージングやセーリングは他の都道府県と比べて盛んな方なのでしょうか？

A　最近、県がマリーナを整備するなど、条件は良くなてきていると思います。セーリング人口がそれに伴って多いかといえば、まだまだこれからですね。

Q304　富山は都心などに比べて船舶の維持にかかる費用が安いほか、湾の独特な地形から他県にはない魅力も持ち合わせていて、初心者の方なんかも経験しやすい環境に思います。そのような情報を伝える手段として現在どのようなものがあるのでしょうか。

A　富山県が「舵」などの専門誌に広告したり、横浜で開催されるボートショーで紹介したりしていますが、専門家相手が主体であって、一般への周知はまだまだ足りないと思います。

Q309　戸塚ヨットスクールについて単にだめだという考えを持つのは少し違うと思います。豆川さんはどういった考えをお持ちでしょうか？私は現在もつぶれていないという事は､一定のニーズがあり、100％悪ではないのではないか、プラスになるような部分もあると思います。

A　あの場所に我が子を送る保護者も一定の信念があってのことだとは思います、おっしゃる通り、100パーセント悪ではないかもしれないし、何らかのメリットもあるのかもしれません。でも、私は、幼児教育にふさわしくないと思いますし、ヨットという言葉や、海の怖さなどをツールとして使ってほしくないと思います。

Q311　海外で開催されるセーリングラリーに日本人参加者はどれくらいになりますか？

A　非常に少ないと思います。データは持ち合わせていません。

Q312　豆川先生の考える海の魅力、ヨットの魅力、富山湾にしかない魅力は何でしょうか？

A　晴れた日の穏やかな海の風景は心地よく、どんな人でも嫌いという人はいないような気がします。

　　しかし、その一方で“素”の自然界はきびしい側面も持っているわけで、海の魅力を享受し、安全に向き合うためには、無謀だったり、無防備だったり、ではいけない。知恵も、技も、備えも必要です。シンプルでアナログな、ヨットライフを通じて、現代、当たり前の生活を見直すきっかけにもなります。富山湾は一言で言えば「自然の豊かさ」。これは都会のマリーナにはないことだと思います。

Q402　クルージングを行っている人にはどのような人（年齢、性別、…）が多いですか？

A　世代的には60過ぎの男性が多いですね。リタイア後に、全国の港を回っている人もいます。

　富山には、昔、ヨットマンという喫茶店があって、そこのオーナーが熱心にセーリングを広めてくれた世代が今中心になっています。

Q403　日本のような島国でクルージングやセーリングが外国ほど根付かない理由は何があるのでしょうか。

A　世界各国と比べ、漁業権などのあり方の違い

Q406　ニュージ―ランドのオークランドは、City of Sails と呼ばれるほどヨットが盛んですが、そのようになった背景、魅力（周辺の海など）､富山県や日本にない強みは何ですか？

A　ニュージーランドの事情は詳しくありませんが、家族のライフスタイル、余暇の過ごし方として定着していることだと思います。これは、カナダやクロアチアでも言えることです。

連携強化

Q115　富山湾近郊の何かと連携は可能か

A　各港間、海関係者（海上保安庁、漁協、ダイバー､船舶メーカー、・・）、周辺（飲食店､交通関係、・・）、行政などとの連携が必要で、地道な取り組みをやっていく必要があります。

Q122,215　富山の何と連携させるとヨット人口は増えていくと考えているか。食、ヨットからの立山の風景など

A　上記に加え、教育、業者、マスコミなど幅広い取組が必要だと思います。

Q218　富山湾から七尾湾、能登島へのクルージングは景色が素晴らしく、非常に貴重な資源だと思うのですが、能登と富山湾岸の地域で協力してプランを立てる事は考えていますか。

A　新湊～七尾レースを隔年で実施しています。

Q224　富山湾のクルージングと漁師との共存を実現するために、一番難しい問題は何ですか？

A　日頃のコミュニケーション不足ですね。

Q312,405　漁業関係者などの関係者との相互理解に必要な事は何ですか。

A　世界の状況と日本の状況の乖離の確認、お互いへの思いやり、理解を持った連携、対立ではないも生まれない。

Q313　日本のマリンスポーツ人口はどのくらいで、他の国ではどうですか？

A　ググってみてください。日本のレジャー白書はここにあります。

　　http://www.factory-zero.co.jp/image/marine%20data.pdf

Q314　１％経済ってなんでしたっけ？　クルージングは冬でもやるのですか？

A　最近では言わないのでしょうか。日本全国のいろんな経済指標を100とすると、富山はほぼ１%に値するというのが定説でした。

　　さすがに雪が降っている最中には、海に出たいとは思いませんが、私が初めてヨットを購入した冬は、クリスマスイブに1人で海にで艇ました。空の色は冬の方が青く澄み切っていて、写真を見た人は真夏に撮影したと思ったそうです。つまり、天気が良ければ、海況が良ければ、冬でも十分楽しめます。

Q315　クルージング・セーリングをしていて泳げる所や、洞窟など面白い場所はありますか？あるとすればそこで遊ばせてもらえますか？

A　どこでも泳げますが、潮流で流されないよう、ロープをつけて泳いでいます。洞窟は大境漁港にありますが、最近は入ったことがありません。

環境保全

観光政策